

学年	教科	科目	教科書名	副教材名	単位数
高3 特進	理科	生物研究	高等学校生物 (第一学習社)	スクエア最新図説生物 (第一学習社) 生物重要問題集－生物基礎・生物(数研出版)	3単位

1. 授業のねらい

- ① 生物学的な概念・思考方法を用いて、生物に関する知識を身につける。
- ② 他大受験に対応できる学力(特に考察力・記述力)の定着を図る。

2. 授業のすすめ方

- ① 副教材の生物重要問題集から受験に必須な問題を選び解答・解説を行う・また、その際に実験・公式等が出る場合はその原理・考え方を講義する。
- ② 授業に対して真面目に積極的に取り組むこと。疑問点は質問するなど、知識を習得するとともに内容理解を深めるよう努めること。
- ③ 板書説明の他、グループワークや生徒による解き方の発表などを行う。
- ④ 問題集用ノートを用意し、授業で取り扱わなかった問題もノートに解いておくこと。

3. 学習上の留意点

- ① 受験を意識して1年間真剣に授業に取り組み、より主体的な学習を行うことに各自努めること。自宅学習として授業の予習・復習をする習慣を定着させる。
- ② ノートを見直し、わからない部分などはそのままにすることなく、質問するよう努めてもらいたい。
- ③ 日頃から用語・概念など重要事項について理解を深め、演習問題を解答する中で、内容理解・計算力・考え方を身につけてゆく。
- ④ 考査前は計画を立て、問題演習を十分に行うこと。また、試験で正答を得られなかった問題を復習し、弱点の克服に努めること。
- ⑤ 問題集をきちんと学習し、基礎知識の定着を確認すると共に、大学受験に対応できる学力を身につけることにも努めてもらいたい。

4. 副教材・参考文献

- ① スクエア 最新図説生物 (第一学習社) を常に活用し、幅広い知識を身につける。教科書に載っていない専門的な知識の習得に利用する。実際に見ることができない生物や体内の微細構造を鮮明な写真で印象づける。
- ② 生物重要問題集の演習を行い、受験に対応するための実力養成を図るとともに、大学入試問題の過去問演習を行い、実践的な学力の向上を行う。

5. 評価の視点・テスト・課題等

平常点は、提出物(問題集ノート、論述課題)、授業態度、長期休暇中の課題などを主として評価する。

6. 定期考査

- ① 定期考査は各回100点満点の問題で、年間で3回実施する。
- ② 定期考査は、試験範囲に関する問題を幅広く出題する。

授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	高1 生物基礎の復習 高2 生物の復習 共通試験の出題傾向と対策	①宿題として出した問題の解答状況	<ul style="list-style-type: none"> ・高1 生物基礎・高2 生物で学んだ学習内容や共通試験の出題傾向を踏まえ、根拠を持って選択肢を絞れるようになる。 ・主要大学の過去問演習を行うことにより、学力の確認および弱点の克服に繋げる。 ・記述型の問題に慣れるために、問題演習を行い、キーワードを押さえ、正しい日本語で論述する。
	5	【1学期中間考査】	②問題集ノートの提出 ③授業中の取り組み（解答解説・発言など） その他課題などがあるときはその都度説明する	
	6	生物重要問題集 A 問題 第1章 細胞と分子 第2章 代謝 第3章 遺伝情報の発現 第4章 生殖 第5章 発生	以上の3項目を主として1学期平常点20点満点に換算し、評価する。	
	7	【1学期期末考査】		
二学期	9	生物重要問題集 A 問題 第6章 生物の体内環境	①宿題として出した問題の解答状況	<ul style="list-style-type: none"> ・主要大学の過去問演習を行うことにより、学力の確認および弱点の克服に繋げる。 ・記述型の問題に慣れるために、問題演習を行い、キーワードを押さえ、正しい日本語で論述する。
	10	第7章 動物の反応と行動 第8章 植物の環境応答 第9章 植物の多様な分布	②問題集ノートの提出 ③授業中の取り組み（解答解説・発言など） その他課題などがあるときはその都度説明する	
	11	第10章 個体群と生物群集 第11章 生態系とその保全 第12章 生命の起源と進化	以上の3項目を主として1学期平常点20点満点に換算し、評価する。	
	12	第13章 生物の系統		
		【期末考査】		
三学期	1 2 3	【 特別授業 】		